



平成17年度上期未踏ソフトウェア創造事業

JavaServer Templates 「Maya」 の開発と世界発信

開発代表者	栗原 傑享
共同開発者	本杉 伊未
共同開発者	圓尾 俊介
共同開発者	荒波 一城



- 背景：JSPへの問題意識
 - J2EEの標準テンプレート技術であるJSP
 - ビューとロジックとが切り分けられていない
 - 実行しなければデザインの確認ができない
 - JSP前提としたフレームワークは多く、捨てられない
- 目的1：新テンプレートエンジン開発
 - オープンソースソフトウェアとして開発
 - HTMLをテンプレートとする
 - JSP前提のフレームワークでも利用できる
- 目的2：普及への施策
 - WEBサイトを充実させる
 - ドキュメントを充実させる
 - WEBならびにドキュメントを英訳する



- 成果1 : Mayaa1.0
 - テンプレートは HTML ファイルなのでブラウザでプレビューできる
 - 独自タグを使わないため HTML オーサリングツールを使える
 - 制御用に特殊な文字列を埋め込む必要はない
 - 利便性のため特殊な属性を埋め込む使い方もできる
 - ビュー技術のみを役割とするため好きなミドルウェアを使える
 - JSP カスタムタグをそのまま使える
- 成果2 : <http://mayaa.seasar.org/>
 - 美しいデザインを導入
 - 日英ドキュメントを公開



- Mayaa1.0は
 - 事業期間内に安定版が完成
 - 事業期間内にSI市場において導入が始まる
 - 事業期間内よりオープンソースソフトウェア
 - デザイナーとプログラマーの完全な分業を実現
 - 過去の膨大なJSP資産をまったく無駄にしない
- 利用方法は
 - <http://mayaa.seasar.org/> にアクセス
 - 最新版のMayaa1.0をダウンロード
 - お手持ちのWEBコンテナに簡単デプロイ